

冬期気象/路面状況センサー

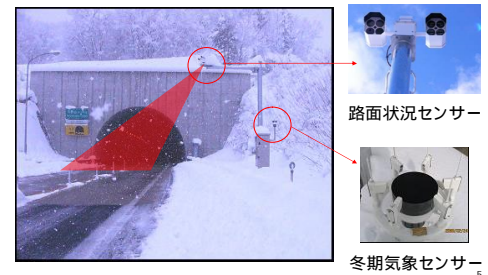
シーズ概要

冬期気象の降雪と凍結を熱量で計測・非接触で路面状況を横断的に計測。

電熱融雪では従来の制御に比べ平均48%の省エネを実現。制御情報配信による地域全体の融雪制御センサーとしての活用。

気象と路面状況の情報活用による車両の安全走行の支援。気象/路面情報のカーナビへの応用

センサー設置例(トンネル融雪)

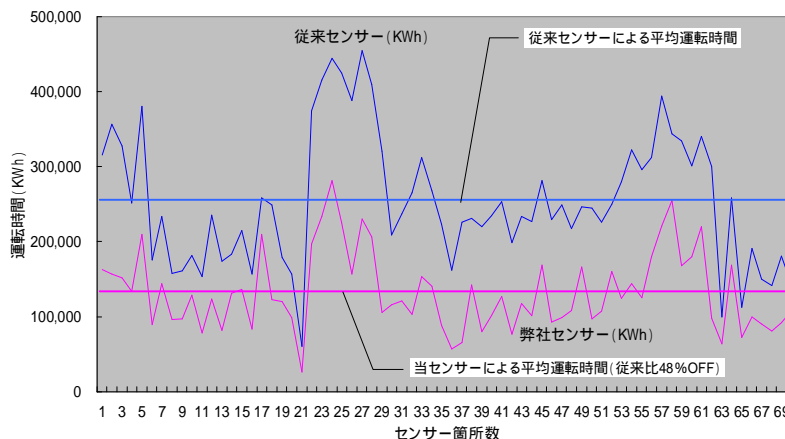


省エネ効果・費用対効果

大型マーケット等での駐車場や屋根雪融雪に使用する電力や石油を約48%節約できます。気象センサーが計測する降雪/凍結の熱量計測値は、冷熱利用システムの基礎データとして活用。

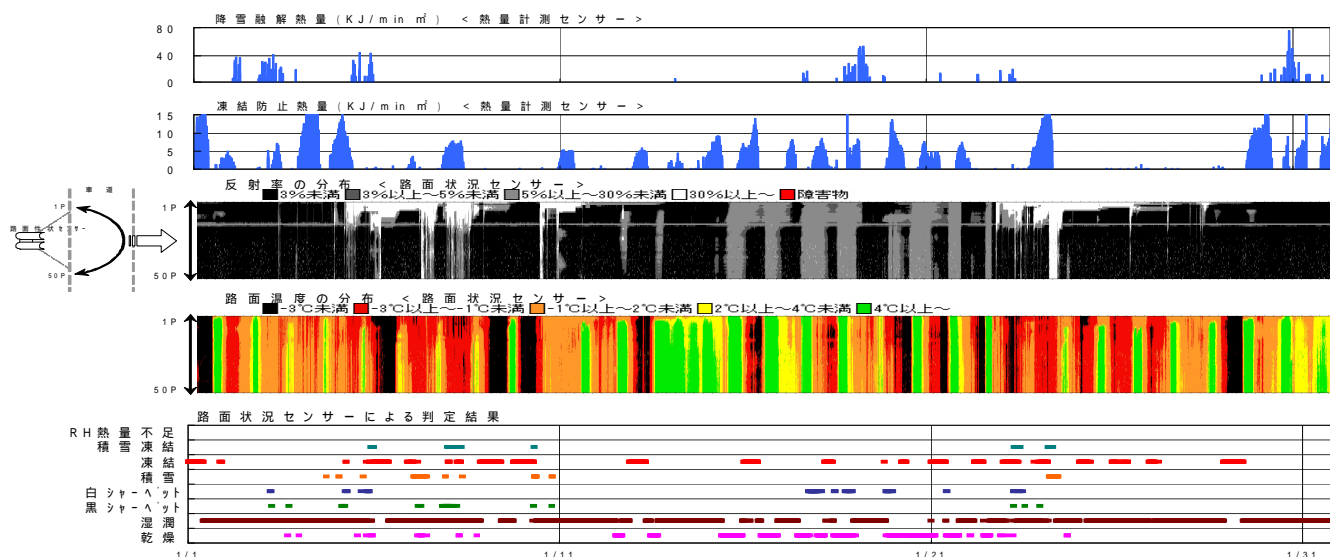
融雪の省力化と快適環境の創出

路面状態に応じたきめ細かなRH運転制御を行うことで、サービスレベルを落とさずに、48%OFFの省エネルギー化を図った。



技術的な特徴

- 気象と路面計測情報を組合せる事で、融雪面の状態を 乾燥 湿潤 黒シャーベット 白シャーベット 積雪凍結 積雪凍結の7段階判断による制御で70箇所の融雪の熱エネルギーを平均48%削減。
- 融雪能力を超える降雪の場合はRH(融雪設備)熱量不足の判断が可能。
- インターネットによる気象/路面状態情報の配信システムも稼働している。
- 気象/路面状況センサーにはデータ保存機能があり状況分析が可能。
- 次のグラフは約1ヶ月間の気象と路面状況を表したもので、上段が気象・中段が路面状況・下段が路面判定状態を示しています。



スペック・仕様

- ・気象センサー 概外形寸法 高さ50横70奥行35cm 電源 AC-100V 最大200W(降雪時)
- ・路面状況センサー 概外形寸法 直径41cm 高さ40cm 電源 AC-100V 最大250W(降雪時)
- ・制御出力 無電圧a接点 情報出力 RS-232C

価格

- ・気象センサー 415万円(税別)
- ・路面状況センサー-C型 480万円(税別) B型290万円(税別)
- ・センサー変換器収納制御盤 125万円(税別) 現場仕様により変動します。 メーカー希望小売価格

納入事例

- ・高速道路株式会社 県・市・町村

導入対象業種

- ・マーケット等の大型駐車場の省エネ融雪制御に最適

企業情報

事業所名	山田技研株式会社
所在地	福井市花堂南2丁目5-12
電話番号	0776-36-0460
E-mail	yamada@yamada-giken.co.jp
資本金	1,000万円
担当者名	代表取締役 山田忠幸
マッチング	希望
希望マッチング先	設置工事の出来る販売協力店 量産時の製造協力工場